



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 5月 29日

豊 田 市 長 殿

提出者 愛知県豊田市御船町大釜5番地54

住所 株式会社太啓

氏名 青山正尚

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0565-46-5004

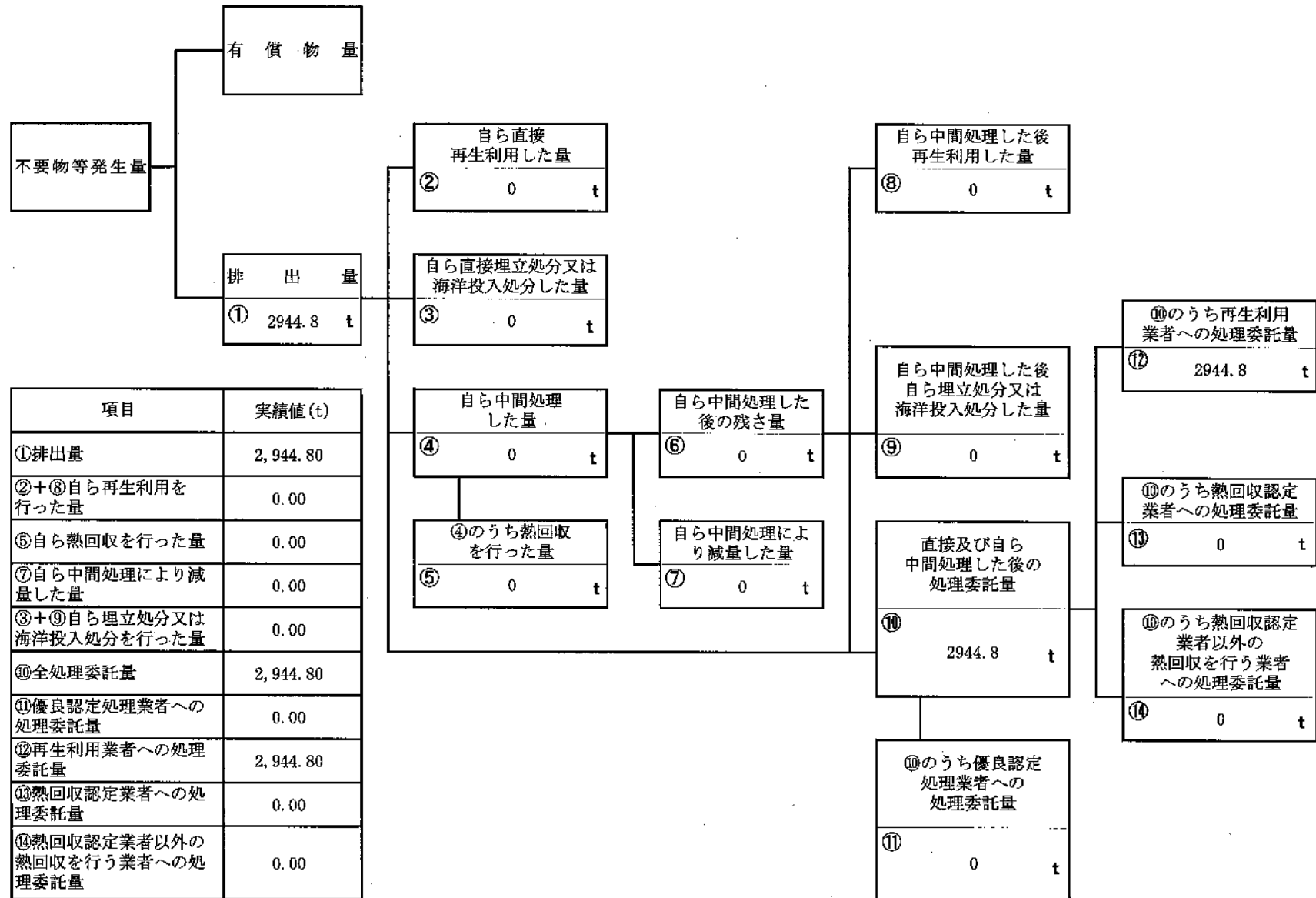
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社太啓		
事業場の所在地	豊田市御船町大釜5番地54		
事業の種類	21：窯業・土石製品製造業 06：総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	12018t	全処理委託量	10621t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	121t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	10500t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1740t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

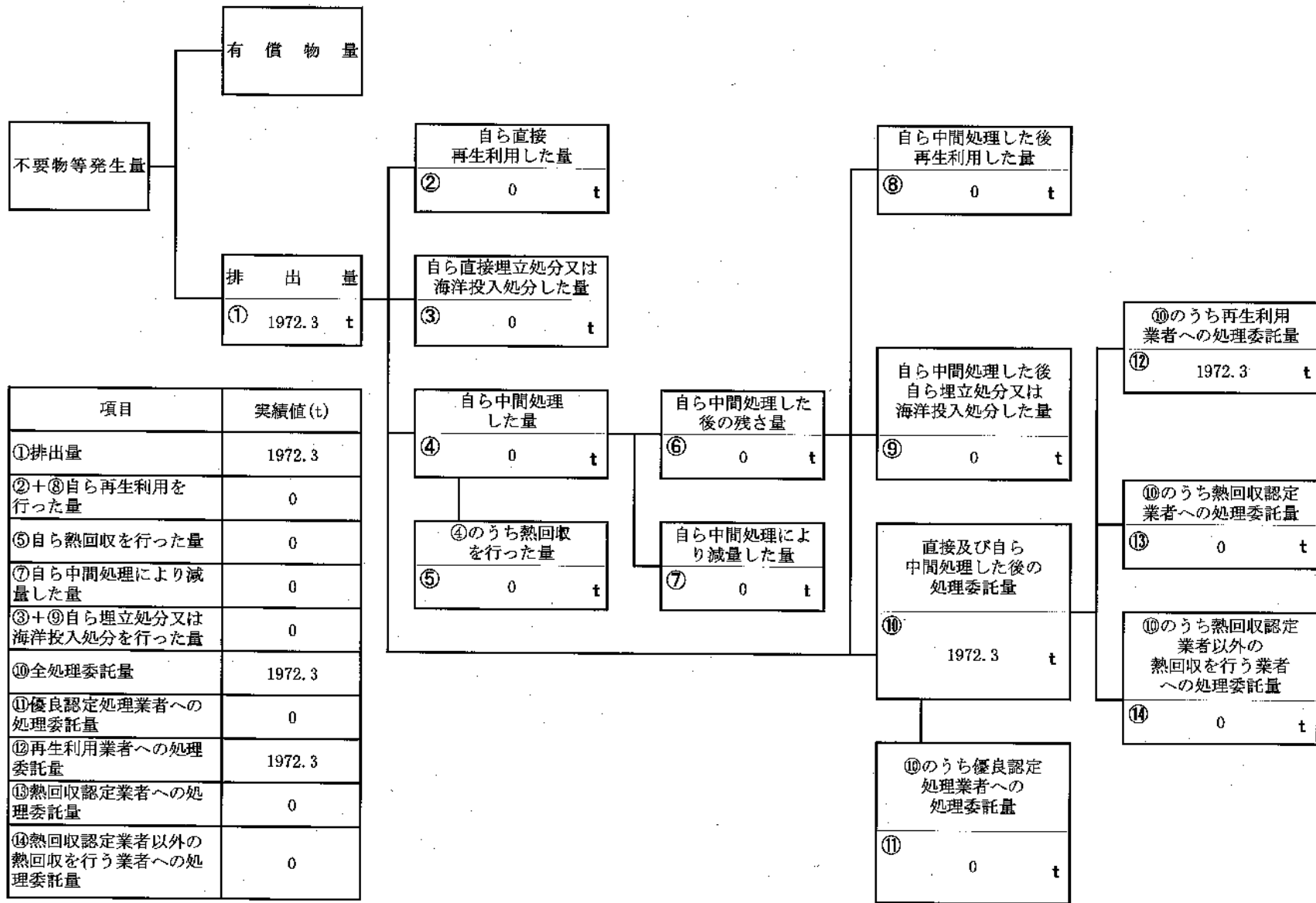
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)



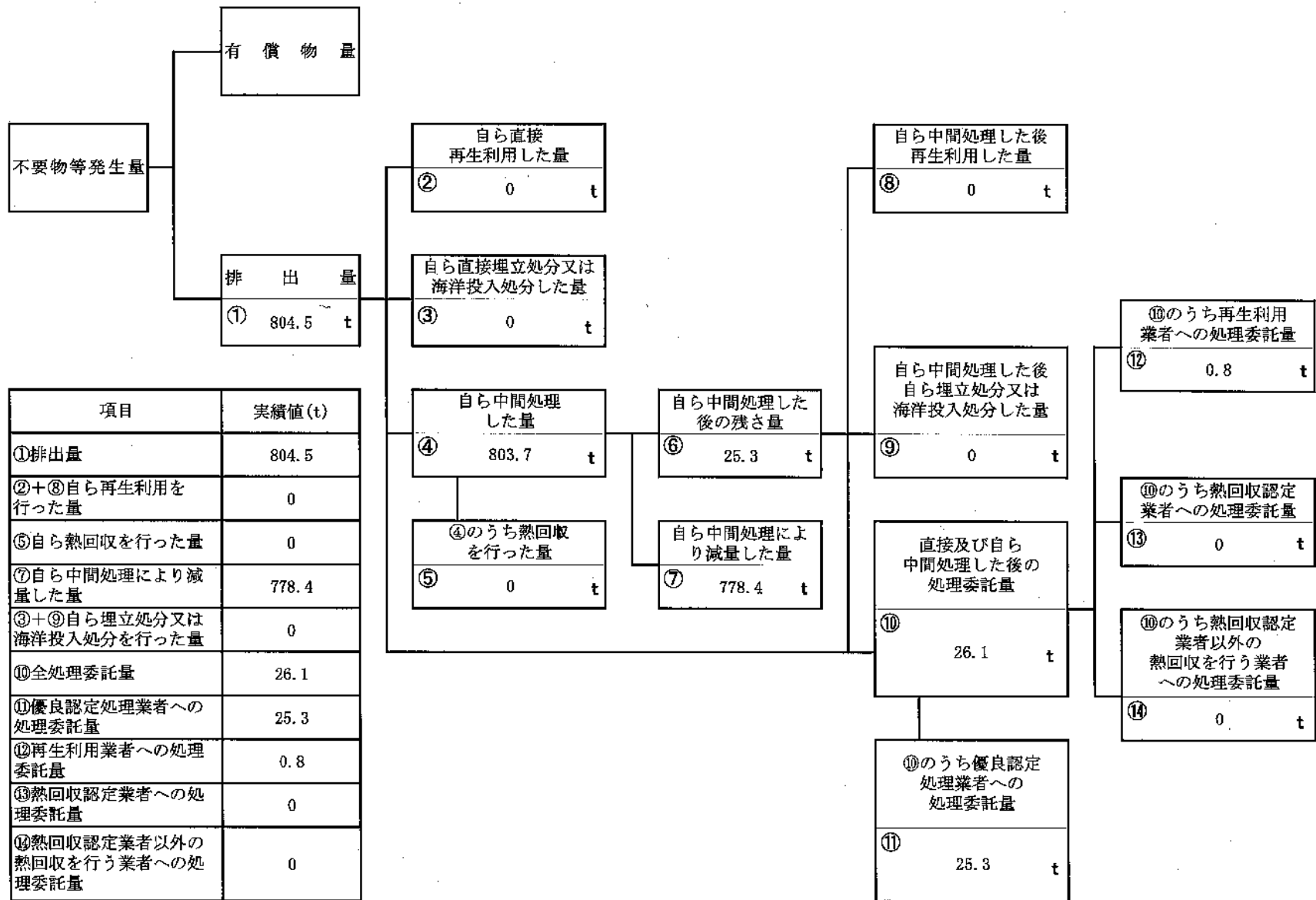
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：がれき類)



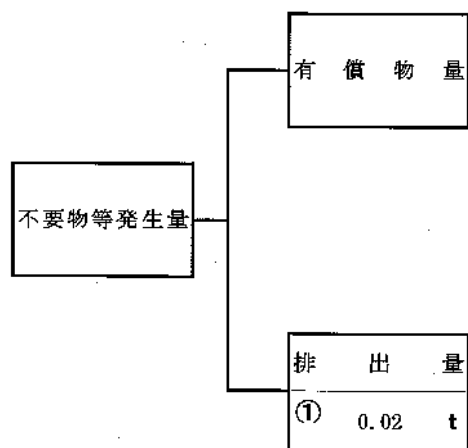
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック)



項目	実績値(t)
①排出量	0.02
②+④自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.02
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.02
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接再生利用した量

② 0 t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③ 0 t

自ら中間処理した量

④ 0 t

④のうち熱回収を行った量

⑤ 0 t

自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 0 t

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0 t

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧ 0 t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨ 0 t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩ 0.02 t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 0.02 t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 0 t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

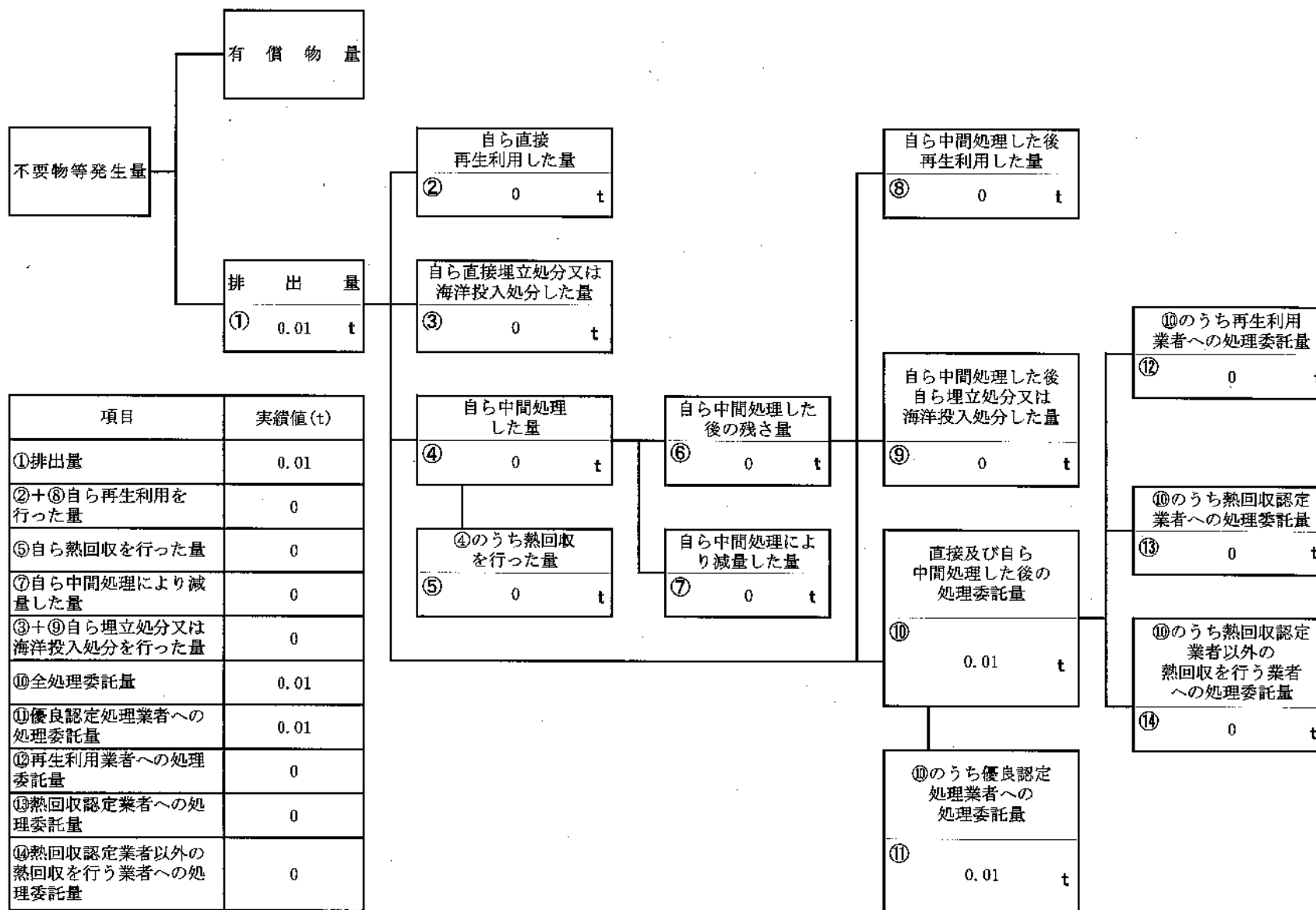
⑬ 0 t

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ 0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：混合(汚泥・金属くず))



産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社 太啓	従業員数 (人)	38	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	鈴木 勇志	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	102	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	0565-46-5004	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	78,970	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	コンクリートくず	がれき類	汚泥	廃プラスチック	混合 金属くず、汚泥
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 ()	a 不要物等発生量 (t/年)	2,945	1,972	805	1	1
	b 有償物量 (t/年)	0	0	0	0	0
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	2,945	1,972	805	1	1
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0	0	804	0	0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・(B)・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	779	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0	0	25	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0	25	0	0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	2,945	1,972	1	1	1
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	2,945	1,972	26	1	1
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0	0	25	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	(A) 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	2,945	1,972	1	1	1
	処理方法	A・B・(C)・D E ()	A・B・(C)・D E ()	A・(B)・C・D E ()	A・B・(C)・D E (選別)	A・B・C・D E (選別)
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	2,945	1,972	1	1	1
	再生利用用途	A・B・C・(D) E ()	A・B・C・(D) E ()	A・B・C・(D) E ()	(A)・B・C・D E ()	(A)・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	2,945	1,972	1	1	1
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0	0	779	0	0
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0	0	25	0	0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。